



第1回支部代表者会議を開催



<戸田会長あいさつ（要旨）>

しば選挙は、1年半の長い期間であったが各支部の主体性の中で取り組んでいただいた。「しば選挙の振り返り」は、支部のアンケートに基づき、総括とまではいかないが連協でまとめた。後ほど、御覧いただきたい。

会員は2,000名を割り込んだ。会員拡大の取り組みは、組織の結成当初から比較し、かなり努力をいただいている。また、現退の意思疎通についてももしっかり連携が出来てきたと感じている。

長岡ブロックの活動は、きめ細かい指導と取り組みがされている。報告を受け各支部でどう活用していくか少しでも参考としてほしい。

<福井連協議長あいさつ（要旨）>

コメやリンゴなど、年末繁忙の時期を迎えているが、郵便物が減っている中で要員不足の状況にある。組織拡大に力を入れているが信越9,000名を前後し組合員は増えていない。

また、若者の転職も増えている。再来年の全国大会は信越で開催される。組織の純増と共済の目標達成を果たし全国の仲間を迎えたい。

<特別報告>

中越支部・相崎会長から長岡ブロックの取り組みについて40分間におよぶ報告を受けた。

会員の拡大は例年の取り組みとして定例化されている。

時系列でみると支部総会後の企画会議の中

で、12月から4月までの間、「いつ頃、何をするか」を決めて、それに基づき取り組まれている。

具体的には、拡大対象者名簿の把握と作成⇒柏崎ブロックを含め意思統一⇒役員会で方針の提案⇒現退合同会議における方針作⇒現役との擦り

合わせ⇒加入案内文の発送⇒家庭訪問（現役は職場対応）⇒行動終了後の点検と総括、という流れで進められる。

役員（班長等）への周知、柏崎ブロックや現役との連携など、かなりきめ細かい取り組みと各役員の任務分担等が確立されていた。

意見交換の中では、少しでもこうした活動に近づけるよう取り組んでいきたいという意見が出された。

支部の組織活動には、歴史的な経過や特徴もあり、この報告を受け一律に取り組むことはできないまでも活動の参考となることを期待したい。

10月20日（木）、第1回支部代表者会議を新潟市万代市民会館で開催し、支部代表と連協幹事等、24名が参加しました。会議は、会員拡大を中心とした2022年度活動方針の具体化や「しば慎一選挙の振り返り」等を提案し、全体で確認しました。また、特別報告では、『中越支部に学ぶ』をテーマに中越支部・相崎会長から長岡ブロックの会員拡大の取り組みについて報告を受けました。



中越支部・相崎会長

＜支部退職者の会／第8回定期総会の開催状況＞

支 部	開催月日	曜	会 場	時 間	参加数(女性)
新 潟	9月3日	土	新潟市「万代シルバーホテル」	13:30	32 (7)
佐 渡	9月24日	土	連合佐渡地協事務所	10:00	8 (0)
下 越	10月8日	土	イクネスしばた(駅前)	13:30	25 (0)
新 津	9月3日	土	秋葉区「新津健康センター」	10:00	20 (2)
西蒲原	9月14日	水	新潟市西蒲区巻地区公民館	13:15	20 (0)
三 条	9月15日	木	三条市「まるい」	11:30	12 (0)
中 越	9月7日	水	長岡市「まちなかキャンパス」	13:30	13 (0)
魚 沼	10月7日	金	サンクロス十日町	9:30	14 (0)
上 越	9月11日	日	上越市レインボーセンター	14:30	23 (1)

連協総会以降、各支部の総会が開催されました。コロナ禍の総会でもあり、今年度も来賓招待と懇親会を自粛した支部が多くありました。

＜2022年度／支部四役体制＞

支 部	会 長	副 会 長		事務局 長	事務局 次長
新 潟	渡辺 三利	高野 秀子	石井 裕	高橋 延明	大倉 一男
佐 渡	山本 敏昭	渡辺 成美	-	伊澤 敏	和泉 貢
下 越	渡辺 公平	内山 勉	下村 豊	齋藤 徳明	小田喜要策
新 津	小林 和栄	鈴木 修一	伊藤 豊一 二宮 修一	佐藤 修一	西済 久夫
西蒲原	揖斐 健次	保倉 公兒	-	中田 武	牧 紀昭
三 条	田代 登	石田 力	関 盛太	渋谷 修	内藤 義輝
中 越	相崎 重明	渡辺 五四六	土田 栄一	渡辺 悟	植木 孝
魚 沼	佐藤 康二	小島 民雄	北村 利市	長谷川正夫	島田 福男
上 越	齊藤 公男	古川 政繁	-	三浦 正郎	池上 一義

役員改選の年度であり、新旧交代が徐々に進んでいます。現役に合わせるため任期を1年とする支部も見受けられました。



J P 労組信越主催の「2022年度前期共済担当者会議」が9月2日、長野市「ホテル国際21」において、来賓（J P 労組中央本部、友愛、明治安田生命、こくみん共済 coop 長野推進本部）の各

団体責任者と地本役員、長野・新潟各連協の共済担当者、連協退職者の会代表等、計74名が参加する中で開催されました。新潟連協退職者の会からは、山田事務局長と渡辺幹事が参加しました。

会議は、J P 労組中央本部および各事業所代表等、来賓挨拶の後、昨年度の目標に対する各支部の実績が報告され、優秀支部の表彰式が行われました。その後、昨年度の取り組みに対する評価・反省が地方本部・綿貫共済担当執行委員から報告されました。

＜J P 労組信越 2022 年度＞ 前期共済担当者会議



その中で、地震や異常気象による風水害が頻発している昨今ですが、共済への加入者は年々減っているとのこと、特に若い人たちの加入が少ないという報告内容でした。今回、参加しての感想は、世代や価値観の違いなのか、共済への関心が薄いのか、正直なところわかりませんが、「転ばぬ先の杖」、「困った時の共済」等、組織として労働運動の原点である助け合いと世話役活動の精神を育ててほしいと老婆心ながら感じました。

『悠友会』第7回ゴルフ大会



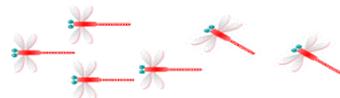
グリーンヒル長岡ゴルフ倶楽部



優勝	中越支部	山田 太郎 (中)
準優勝	中越支部	渡辺 一郎 (右)
第三位	三条支部	関 盛太 (左)



表彰式の集合写真



10月4日(火)、『悠友会』第7回ゴルフ大会がグリーンヒル

長岡ゴルフ倶楽部で開催されました。秋晴れの爽やかな天候とたくさんの赤トンボが歓迎する中、県内各地より40名のゴルフ大好きメンバーが参加しました。

悠友会が結成されて、これまで8年が経過しましたが、参加者の顔ぶれは相も変わらずいつものメンバーでした。それなりに老化は進んでいますが和気あいあいとケガもなくプレーが出来ました。「いつまでも元気でゴルフできるといいね!」、「またね!」の掛け声と共に散会となりました。

長寿で健康 生き生きコーナー

三条支部 小杉勝美さん (85歳)

大空に舞う凧合戦 凧絵師としてこの道65年



ゴールデンウィーク近くになるとこの人の出番がやってきます。

毎年6月に行なわれる見附市今町、長岡市中之島大凧合戦に凧絵師として20歳から携わって今年で65年になります。

平成18年には見附市固有の歴史と文化を支える卓越した技能者として、見附市伝統技能マイスターに認定されました。

この間、歌舞伎絵、武者絵、

美人画、龍、虎、おとぎ話の主人公、アニメのキャラクターなど、多くの作品に出会いました。

スポンサーの要望には、出来るだけこたえることをモットーとして、資料集めに多くの時間をかけることもあるそうです。

この2〜3年は、新型コロナウイルスの影響でイベントが中止となり、大凧を描く機会がなくなり寂しい思いの中で過ごしていたそうですが、今年は、凧揚げ技能伝承会が開かれて、また大凧を描ける喜びを味わっているそうです。

後を継ぐ若手も育ちひと安心ですが、もう少し若い人たちからパワーをもらいたいしみながら凧絵を描いていこうと張り切っておられました。

(三条支部通信員)

投稿コーナー

(俳句)

十三夜鳥獣は
戯画を抜け出せり

心臓が軽くなる
秋光の透視

螺旋階段昇る
月への階をのぼる

ラ・フランス生きて
いるからボンジュール

めくるめく
银杏黄葉吾が忘れる

西蒲原支部
原田耕治

俳句・短歌
川柳・絵手紙
絵画・写真
書・手作り作品

応募は、葉書か適宜な用紙に「作品・支部・氏名」を記入し、絵画・書・手作り作品は、写真に撮って封書で送付してください。なお、メールでデータ送信可能な支部(人)は、下段のアドレスをお願いします。

お知らせコーナー

県内全支部の慶弔者名を掲載します

おめでとうございます

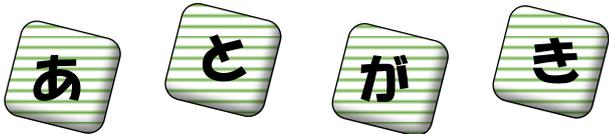
(2022年8月・9月) (敬称略)

慶事	月	お名前	支部
喜 寿	8 月	坂口孝夫	上越
		関勝昭	三条
		平沢俊夫	中越
		高橋省三	中越
		諸橋喜一	中越
		竹内康雄	中越
		須藤敏枝	新津
	9 月	田中久雄	佐渡
		石山武	新津
		尾木求	中越

お悔やみ申し上げます

(2022年4月・8月・9月) (敬称略)

月	お名前	支部	ご逝去日	
4月	小野房枝	新潟	15日	
8 月	竹内良策	上越	2日	
	前田潔	新潟	2日	
	金井敏	新潟	11日	
	志田金作	新津	15日	
	松田クメ	新潟	16日	
	室橋朝子	中越	17日	
	中村元治	中越	20日	
	矢尾板作一	中越	24日	
	遠山敬四郎	新潟	24日	
	渡部兵衛	新津	25日	
	9 月	深井正巳	中越	1日
		星野金司	新潟	2日
加藤正		新津	8日	
小林レイ		新津	19日	
金田邦雄	新潟	26日		



今回は、試行的ですが、初のカラーバージョンで作成してみました。特に絵手紙や絵画などは、カラーで掲載することにより、作品の趣と彩が表現でき、一段と見栄えがするものと思われます。

しかし、その類の投稿はありませんでした。残念！次回(正月号)には、是非、載せたいですね。奮ってご応募ください。(事務局より)

〒951-8799 新潟中郵便局内

J P 労組新潟連協退職者の会 まで
メール niigatarenkyo@jprouso.or.jp